

事業実績シート（研修及び調査・研究）

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input checked="" type="checkbox"/> NERC） <input type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業		
自治体(団体)事業名	研修機関派遣事業（長崎県建設技術研究センター）		
所管局部課	自治体（団体）名	所管部・課名	担当者名
	大村市	総務部人事課	山口 尚子
連絡先（TEL）	0957-53-4111（内線272）		
事業期間	開始年	平成22年 5月 日（8年目）	
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]		
実施期間	（開始日）平成29年4月18日 （完了日）平成29年10月20日		
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先（TEL）
	（委託内容）		
研修及び調査・研究の目的 ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象（誰を・何を）	目標・目的	
	大村市職員	公益財団法人長崎県建設技術研究センターにおける研修を通じて、本市職員の能力の向上を図り、もって住民の福祉と地域の振興に資することを目的とする。	
研修及び調査・研究の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	公益財団法人長崎県建設技術研究センターにおいて、民間、行政の建設技術者を対象とし、公共事業の急速な増加と技術の専門化・高度化に対応する新技術・新工法・新素材の研究、建設資材の適正な品質確保及び建設技術者の資質向上を図るもの。 当該助成事業は、市町職員が受講のために要する旅費及びその他の諸経費に対し一部（実費額の3分の2の額）を助成することにより、当該研究センターへの職員派遣を推進するものである。		
研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状	（事業開始の背景）		
	高度で建設技術者の技術力と資質の向上を図り、各分野における専門性の高い研修や、地方公共団体等職員が建設事業を適正に執行するために必要な研修を行うため、公益財団法人長崎県建設技術研究センターで研修事業が開始され、本市でも職員の建設技術の向上及び公共の福祉の向上を目指し、当該研究センターへの派遣を行っている。		
	（経緯・現状）		
	公共事業の急速な増加と技術の専門化・高度化に対応し、建設技術と資質の向上を図り建設事業に携わる人材の育成を行う必要があることから、毎年度計画的に職員の派遣を行っている。		

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		10,360	36,260	56,980					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	6,906	24,171	37,983					
	一般財源	3,454	12,089	18,997					
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	長崎県建設技術研究センターへの派遣職員数	毎年度数人派遣	人	目標		2	7	11
					実績		2	7	11
					目標達成率（％）		100	100	100
	②				目標				
					実績				
目標達成率（％）									

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>高度で専門的な知識・スキルの習得及び他自治体との交流の中で、さまざまな情報を交換することができるため、職員の資質向上、住民サービスの向上に役立てることができる。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	短期間で専門的な知識が得られる研修科目を検討し、より多くの受講者に研修の機会を与えた。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	当該事業の効果は高く、県内で他に代わる研修機関もないことから、当該事業については継続（現状維持）する必要がある。				